

Final Fantasy for XI.III.MMXI

- 出演…いわき総合高校演劇部
- 原案…いわき総合高校演劇部
- 構成・脚本・演出…いしいみちこ
- 演出助手…猪狩桐花
- 協力…(有)アゴラ企画・青年団

福島県立いわき総合高校と『Final Fantasy for XI.III.MMXI』誕生について

福島県立いわき総合高等学校は福島県南東部(いわき地区)唯一の総合学科高校である。平成14年度にそれまでの普通科から学科転換し、人文国際、自然科学、生活福祉、スポーツ健康、芸術・表現、情報の6系列約120科目の学校設定科目を含めた選択授業が開始された。中でも芸術・表現系列では演劇をカリキュラムに取り入れ、20単位の学校設定科目を設けている。

同校の演劇の取組みは大きく分けて「芸術・表現系列における教科としての演劇の授業」、「総合学科が取り組んでいるキャリア教育の一環としてのコミュニケーション教育」、「特別活動としての演劇部の活動」の3つの活動があり、とくに演劇部ではイギリスの創作メソッド、ディバイジングメソッド(Devising method)を用いて顧問と生徒の協同創作を行っており、年に一度行われる高校演劇コンクールでは東北ブロック大会への出場を果たし、創作脚本賞や優秀賞などを受賞してきた。

2011.3.11の東日本大震災、その後の東京電力福島第1原子力発電所の事故により、避難生活や休校を余儀なくされ、とくに多感な高校生達が心に負った傷は深く、計り知れないものがあった。4.11、4.12の震度6の余震でも、校舎は大きく損壊したが、幸いなことに演劇に関する施設設備にはほとんど被害がなく、演劇演習室は音響・照明を使用できる場として生き残った。

4.22より学校始業、再会した生徒たちに、芸術・表現系列(演劇)担当教諭で演劇部顧問のいしいみちこ(石井路子)は授業で訴えた。「福島に住む私たちにこれまでのような未来はないかもしれないが、だからこそ、手に入れた(未来)がある。この現実をあきらめずに生き抜くこと、そのものが『希望』であり(未来)になり得る」そして演劇部の生徒たちに「今の私達の状況を客観的に見るため、芝居作りをしてみよう」と呼びかけた。部員たちのエチュード(習作)を先生がまとめて構成・脚本を書き、『Final Fantasy for XI.III.MMXI』として、2011年7月に初演された。

作品は大きな反響をよび、2011年10月神戸公演(DANCE BOX)、12月東京公演(アトリエヘリコプター、筑波大劇場中学高等学校)、2012年3月福岡公演(福岡明治安田生命ホール)、5月には、創造的復興教育フォーラム(文部科学省講堂)で特別公演が行われ、文部科学大臣や環境大臣も観劇、鳩山元首相からもブログで絶賛された。

2011年3月11日の東日本大震災、その後の東京電力福島第1原子力発電所の事故により、避難生活や休校を余儀なくされた高校生たちが、どうにもならない今をどうにもならないまま、ぶつけるように創作された作品です。

そのレベルの高さと前を向こうとするひたむきな姿が大きな感動と反響を呼んでいます。豊岡市の「高校生のためのアートプロジェクト」の取り組みとして、豊岡公演が実現しました。

大 震災・原発事故の影響による文化祭の中止を阻止するため、ヒロコ、タカハシ、やすのり、しゅうたの4人は、現在立ち入り禁止となっている北校舎に「復活の呪文」を探しに行く。突如現れるホアン保安員、清水、溶解ゲンシーらに4人の行く手は阻まれる。

「復活の呪文」を手に入れるためのマストアイテム「青い、透明な、ガラス玉」、それは、ヒロコが親友キリカと一緒に、あの浜辺で拾った思い出のビーチグラスだった。ヒロコは、牛、犬、鮎らの助けを借りて、すでに警戒区域に指定された、キリカの家の庭に埋まっているタイムカプセルを掘り起こす…。



日時 2012年 8月25日(土) 開演19:00 開場18:30
8月26日(日) 開演14:00 開場13:30
場所 豊岡市民プラザ ほっとステージ

チケット(前売)【全席指定】

— 一般…1,000円(当日は200円増)
高校生以下…無料(指定入場券・要申込)

◎チケットのお求めは…豊岡市民プラザ TEL.0796-24-3000

お車でご来場の方…市立駅前駐車場をご利用ください。駐車料金を無料にいたしますので、お帰りの際に、駐車券を豊岡市民プラザ窓口にお持ちください。なお、アイティ駐車場に駐車された場合は、3時間のみの駐車サービスとなります。(アイティ地下駐車場は21時以降出庫できなくなりますのでご注意ください。)

いわき総合高校生と地元高校生の交流ワークショップ

日時…8月24日(金) 13:30～/講師…わたなべななおこ/定員…20名

●講師プロフィール

演出家・ワークショップファシリテーター、あなざーわーくす主宰、あなざ事情団メンバー、NPO法人PAVLIC理事。1974年生まれ、兵庫県赤穂市出身。神戸大学発達科学部卒業、中国・中央戯劇学院舞台演出学科修了。2000年、あなざーわーくすを設立。観客参加型の『レクリエーション演劇』を独自に開発し、観客と俳優の間のコミュニケーションを軸に展開するユニークなスタイルで演出活動を行っている。またワークショップファシリテーターとしても幼稚園児から80代のおじいちゃんまで様々な年代の方を対象に日本各地でワークショップを行っている。

(お申し込みは豊岡市民プラザまで)